



2025年（令和7年）8月19日午後2時

府政記者会 会員各位
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位
河南記者クラブ 会員各位

どんな生きものがいるか探してみよう！
「生きも農(の)ふれあいイベント」を開催します
9月20日(土曜日)、環農水研 本部・環境と食農の技術センター(羽曳野市)

おおさか環農水研本部・環境と食農の技術センター（羽曳野市）の敷地内には、希少種のニホンアカガエルやアナグマなどを含む600種以上の動植物種が確認されており、環境省の「自然共生サイト※」に認定されています。多くの動植物が生育できるのは、試験研究のための農地のほか、緑化のための展示園や草地、水路や池など多様な自然が存在し、生物多様性が豊かなことで知られる“里地里山（さとちさとやま）”の環境になっているためです。

今回、小学4年生から6年生を対象に、敷地内で里地里山の生きもの採集や、農作物収穫などのふれあい体験を通して、生物多様性を守るために何が必要なのかを知っていただくためのイベントを開催します。

1. とき：2025年9月20日（土曜日）雨天決行・荒天中止
午前9時半から12時半（開場9時、受付開始9時15分）
2. ところ：環農水研 本部・環境と食農の技術センター
（羽曳野市尺度442）
公共交通機関もしくは、お車でご来場ください
3. 内容：（雨天の場合は、体験メニューを変えて実施します）
 - ・ 農地と生物多様性（座学）
 - ・ 虫とり網で生きもの採集
 - ・ 自動撮影カメラで見る「夜の生きもの」
 - ・ 農産物収穫体験
4. 対象・定員：小学4年生から6年生 20名
（保護者同伴必須。保護者および同伴者は定員に含みません）
5. 参加費：無料
6. 取材申込み（報道）：会場での取材の際には、所属、氏名、連絡先電話番号、メールアドレス、カメラの有無を記載の上、9月18日（木曜日）午後5時までにEメール（kikaku[at]knsk-osaka.jp）へお申込みください。
7. 申込方法（一般）：以下のサイトからお申込みください。
<https://www.knsk-osaka.jp/nourin/news/2025081200024/>
申込締切：2025年9月8日（月曜日）
 - ・ 1グループにつき保護者1名以上を含む4名までお申込みいただけます。
 - ・ 申込多数の場合は抽選を行います。



▲稲穂と赤トンボ



▲虫とりの様子



- ・ 参加可否は9月10日（水曜日）までに、お申込みいただいたメールアドレスへご連絡します。参加可否の連絡が届かない場合は、問合せ先にご連絡ください。

8. 注意事項

- ・ 農地や草地に入るため、長袖・長ズボンなど肌を露出しない服装、長靴など汚れてよい靴、虫よけスプレー等による虫よけ対策をしたうえで参加してください。
- ・ 本イベントで採取した昆虫等の生きものは持ち帰りできません。網や飼育ケースは当所が貸し出したものを使用いただきます。
- ・ 障がいがある方等で、参加にあたり配慮を希望する方は、お申込みの際にご相談ください。
- ・ イベント開催時に撮影した参加者がうつった画像、映像を、当所 Web サイトや SNS、テレビ等で公開する可能性があることをご了承のうえお申込みください。
- ・ 雨天決行です。荒天等で中止の場合は、前日の9月19日（金曜日）午後1時までに環農水研公式X（エックス）でお知らせしますのでフォローをお願いします。環農水研ホームページでもお知らせいたします。

環農水研 公式X（エックス）：https://x.com/knsk_pr |



9. 問合せ先

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
企画グループ 「ふれあいイベント」係
〒583-0862 大阪府羽曳野市尺度 442
TEL 072-979-7070 FAX 072-956-9691

環農水研 本部・環境と食農の技術センターへのアクセスは、以下のアドレスもしくは二次元コードからご確認ください。

<https://www.knsk-osaka.jp/shisetsu/shokumi/access/index.html>



※自然共生サイト：「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する制度。環農水研では、寝屋川市にある生物多様性センターが2024年10月、今回の会場でもある本部・食農の技術センターが2025年3月に認定されています。

環農水研は、第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会の一員として、大会開催の機運醸成に取り組んでいます。

